社会福祉法人すみれ会
すずらん

『地域連携推進会議』

作成者：　管理者　　記載日：令和 8 年 11 月 7 日

活動内容（テーマ）	地域推進会議
活動日時	令和 7 年 11 月 7 日（土）　11：00～11：50
場所	事業所名：すずらんカレッジ折尾キャンパス
参加職員氏名	管理者・サービス管理責任者
構成員	
・利用者本人	U　様
・利用者家族	U　様（母）
・地域の方	折尾町内会長　I　様
・福祉の有識者	施設名：北九州ソーシャルネットワーク研究所 氏名：N　様（職域：相談支援専門員）
・福祉の有識者	施設名：障害者支援施設ちづる園 氏名：U　様（職域：入所施設　主任相談員）
・行政	
内訳）その他の情報	・男性 1　女性 5 名 ・年齢層：30 代から 50 代
会議内容	
内容 地域で自分らしく暮らす ～カレッジに出来る事～	・今回の地域連携推進会議(地域交流会)の目的と自己紹介 ・すずらん基本理念と北九州市内での事業展開 ・カレッジの概要・活動内容説明（動画と合わせて） ・カレッジと地域との関り及び実際の地域での活動についての報告 ・地域の中で生活や活動する中で、ご利用者が今後やってみたいと考えていることや、不安に感じていること、あったらいいなと思うもの等 ・地域から見てカレッジと地域との関りをどのように感じるか、今後どのような連携や交流が出来るといいなと感じているか
参加者の感想・意見	・事業所が単体で色々な取り組みをされていることを知った。自治体としてはそれぞれの取り組み以外にも、共同で行えるものがあると、把握や交流も出来てよりいいなと感じる。 ・他事業所はどのような地域との交流を行っているか

	→N 様　地域の行事に積極的に参加。(清掃活動や祭り) →U 様　各地の小学校で福祉用具体験や、障がい者スポーツの普及、大きな広場を所有しているので他事業所を招いて障害者スポーツ大会の開催、自治体に加入して合同避難訓練などに参加している。 ・ご利用者が地域の中で今後も取り組んでいきたい事や、あるといいなと感じているとして、もっと気軽に相談できる人やコミュニケーションが取れる場所が増えて欲しいとの話が出た。 ・地域から見てカレッジとの関わりをどのように感じるか伺い、今後どのような連携や交流が出来るか意見を伺う →事業所単体での活動以外にも、自治体や町内などの活動に参加したり、いつどこでどのような活動を行うかなどの情報共有が出来ると良い。 ・それぞれの視点からの話がたくさん聞けて良かった。 ・地域と事業所が協力し、連携できると利用者側としても安心できます。
職員の感想・意見	・地域との関わりとして、ゴミ拾いや清掃活動の実施、活動の中で様々な社会資源を活用していることなどお話し、地域住民や関係機関の皆さんにカレッジが地域とどのようにつながっているかを知っていただけた。 ・他事業所と地域との関りを伺い、地域貢献の方法を工夫されており、自社のできることや特色を活かした貢献の仕方を考えることも大事だと感じた。 ・今回、他事業所や地域の方とお話をすることができ、普段から交流が持てる機会が増えるといいとそれぞれが感じていることを知った。事業所が認知してもらえる取り組みの一つとして、今後もイベントなどが開催できるといいなと感じた。